

JWTC NEWSLETTER

Vol.33 No.1 April 2013

第33回 JWTC総会 開催

2013年3月2日(土)、「Rin」3階イベントスペースにて、第33回総会が開催されました。

出席者65名(うち委任状32通)、会員数の定足数以上により総会成立が報告され、総合司会の本多美知子会員による総会開会宣言を皮切りに、伊藤聡子会員の議長によって議事が進行しました。

広げよう！ 人の輪 旅の輪

2013年度のロゴが決定しました

1. 2012年度活動報告

総務部、広報部、事業部、会員部、名古屋支部より活動報告があった。

続いて田辺典子副会長より、特別勉強会の報告があった。

- ①日本の神社を知る～明治神宮～ 3月17日
- ②佐賀県の魅力を知るセミナー 9月7日
- ③佐賀県の魅力を知る旅 11月17日

佐賀県の魅力を知る旅は、セミナーで得た知識を現地にて実際に視察するという有意義なものになった。

2. 2012年度会計報告

総務部より決算報告書に基づいた報告がなされ、承認された。

3. 2012年度会計監査報告

西鳥羽洋子監査役により、出納帳の記載、収支明細、及びすべての領収書、本会計預金通帳、以上すべてを確認し2013年1月7日承認、監査を終了したことが報告され、承認された。



バザーの様様



懇親会の様様

4. 議案

①部の再編による新体制について

田辺典子副会長より詳しい説明がなされた。

会員の減少に伴い、部の体制を現状に合わせる必要性について運営委員会にて検討を重ねた。各部業務の棚卸しを行い、業務及び会の活動を縮小することなく4部から3部体制にして運営することが望ましいとの結論に達した。3部の名称は運営企画部・広報戦略部・イベント企画部とし、名古屋支部は従来通りとする。会員相互が交流できる

ご挨拶 JWTC会長 戸井川裕美子

粛々と議事が進み、皆様のご理解を得られたことを心から感謝いたします。昨年一年、会を支えてくださった運営委員をはじめ会員の皆様に重ねてお礼申し上げます。

さて、1980年につくられたこの会も、今年は33年目に入りました。会をつくった時代から世の中は大きく変わりました。つくられた諸先輩の方々の思いを大事にしながらも、変化を恐れず、新しい時代をつくっていかねばなりません。

今年は、『広げよう！ 人の輪・旅の輪』をテーマとしました。それに伴ない、組織を見直し、新しい体制でのスタートをきることになりました。皆さんと力を合わせながら、今まで以上にJWTTCの活動を外部に発信し、人と旅の輪を大きく広げていきたいと考えています。私たちがいきいきと活動することが、わずかでも旅行業界への貢献になり、旅を楽しむ人たちへの応援メッセージになればこんなうれしいことはありません。

ぜひとも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

機会を増やし、従来とは異なる対外的な広報活動も実施し、新入会員の獲得と会の活動の活性化を図りたい。部の再編に伴い現行の部員構成をいったん白紙に戻し、改めて新部長より勧誘を行うことに対し、会員の理解と協力が依頼され、承認された。

②運営委員会役員選出

田辺典子副会長により行われ、承認された。

③規約及び運用細則改正点報告

坂本友理副会長より、体制改編に伴う規約改正の必要性と、昨年の改正で不足していた部分の見直しの2点が目的であると説明された。規約改正メンバーにより作成された改正案は、詳細解説の上、承認された。

5. 2013年度予算案

配布資料「2013年度日本旅行業女性の会予算案」にて詳細を説明。

2013年度活動計画案、及び予算案は、拍手により賛成多数で承認された。

6. 新入会員紹介

2012年度に入会された会員4名（うち欠席者2名）による自己紹介。

7. 新部会紹介と2013年度活動計画案

新任役員の就任挨拶と、併せて各部の2013年度活動計画案が発表され、承認された。

【運営管理部】 近藤多津子部長

今期、運営管理部長を拝命いたしました近藤でございます。運営管理部は、会のお金の管理、議事録その他の記録保管、会員の入退会その他に関する記録保管…と、その活動はあまり表だったものではありませんが、会の根幹に関わる重要な役割を担って、新たなスタートをいたしました。

過去2年間の総務部長としての経験を生かし、活動していきたいと考えておりますので、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。また、部会などの部内活動においては、働く女性としてのいろいろな相談も気軽にできるような「和やかで楽しい部」を目標に進めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2013年度運営委員会役員（敬称略）

会 長	戸井川裕美子	株式会社ピコ	（留任）
副 会 長	田辺 典子	株式会社京王プラザホテル	（留任）
副 会 長	坂本 友理	株式会社JTB 首都圏	（留任）
会 計 監 査	西鳥羽 洋子	株式会社ウェンズ	（留任）
運営管理部長	近藤 多津子	エムオーツーリスト株式会社	（新任）
広報戦略部長	千葉 千枝子	有限会社千葉千枝子事務所	（新任）
イベント企画部長	山科 ほとり	トップツアー株式会社	（新任）
名古屋支部長	三宅 博子	日通旅行株式会社	（新任）



左から、山科さん（前列）、千葉さん（後列）、田辺さん、戸井川さん、坂本さん、近藤さん、西鳥羽さん



オーダーメイドで旅を作ること

株式会社ピコ 伊藤 聡子

二昔ほど前の話ですが、他社より500円安いパック旅行をひたすら作り、勝ち負けを競うことが「旅を売る」ことだと思っていた時期がありました。昼間に受注したフライトやホテルの手配を毎夜の残業でこなすことで、忙しい旅行業界で働いている実感を得ていた時期がありました。でもその時期は、日々繰り返しの中で何年働いてもお客様とのつながりが太くなっていくことがない満足感の薄さと消耗感を切実に感じる時期でもありました。

今から8年半前、平成16年の11月に、社長とふたりで小さい旅行会社をつくりました。仕入れ力だけが勝負のスケ

ルトンの安売りではなく、自分たちの好きな国の文化を自分たちが好きなお客様にご紹介し、お客様にもその国を好きになっていただきたいという気持ちでの開業です。つまり、ハード（素材）を売るのではなくソフト（心）を分かち合うのです。

弊社は創業当初からお客様のニーズに沿った「オーダーメイド旅行」を看板にしていってまいりましたが、ひとくちに「オーダーメイド」といってもどんなオーダー？と、ピンとこない方もいらっしゃると思います。下手をするとネーミングのイメージから「細かく希望を伝えないとイケなそうで面倒そう。それに相談した

が最後、とても高い旅行を売りつけられ断れないのでは？」という恐怖をお客様に植え付けるマイナス要素が大きいかもしれません。

実は私も今なお「オーダーメイド」の意味を探り続けていますが、経験から気づいたことは、お客様の持ってこられた骨格（どこへ何日間行きたい）に肉付けをすることが基本になりますが、その肉はおお客様の ①宿泊施設の格や設備、様式の好み ②食事の好み ③趣味を尊重した観光地の選定と見学の時間配分 ④年齢や持病を考慮したスケジュール組み ⑤ご予算の傾向を対策した値付け と、その方の生活環境や人柄、クセなどをよ

〈活動計画〉

- 年次総会の準備と運営
- 予算管理、財務管理及び会計業務、年会費の徴収と追徴
- 議事録及び会の記録保管
- 新入会・退会・変更手続き及び運営委員会への提出、会員名簿・データの管理、ラベル作成
- 会員ハンドブック作成
- ニュースレターの発送（会員宛）、新入会員への会長名歓迎挨拶文の送付

【広報戦略部】 千葉千枝子部長

このたび広報戦略部長を拝命しました観光ジャーナリストの千葉千枝子です。JWTCの活動を、より広くより多くの方々に知っていただきご理解とご協力を仰ぐために、広報活動をますます活発化させて、新入会員の拡充につながるよう鋭意努力の所存です。観光の現場には女性力が欠かせません。今後の観光産業の発展を見据えて、有能な女性人材を数多く輩出できる場として、JWTCを担い支える部になればとと考えています。よろしくお祈りします。

〈活動計画〉

- ニュースレター発行年3回
- ホームページのメンテナンス（保守・更新）
- マスコミ向けプレスリリースの作成と発送
- 会・メンバーに関する記載記事、画像等の整理と保管
- 新入会員の勧誘
- 新入会員獲得のための勧誘レター送付
- ビジターフォロー

【イベント企画部】 山科ほとり部長

JWTCの体制を一新するにあたり、イベント企画部長という大役を仰せ付けられました。不安や心配はぎゅうっと押し込め、さあやるぞと自らを鼓舞し張り切っております。アイデアの豊富な会長、副会長にすでにかなり助けていただき、今

く知っていてこそ提案できる、和牛というならA5ランクの肉なのだろうということです。

簡単に骨格だけ伝えたら、それ以上のことを伝えなくても好みの旅が出来上がってくる。それこそがお客様にとって至高のオーダーメイド旅行なのではないか、それは20年前に必死で売っていた量産旅行とは対極にある、旅行社にとっては「究極に面倒くさい」旅行であるのだと思います。

弊社では営業・企画・手配・添乗までを一貫する担当制をとっています。日ごろお客様と細かくお付き合いし、様々な嗜好からご家族のイベントまで知る「親戚のおばちゃん」体制でお客様と呼吸を合わせていくことで、自然と空気を読み、自然とお好みのプランが仕上がる、お客様にとっては便利な全自動システムです。

あるとき、同業の方からこんなご指摘をいただきました。「そのやり方では、会社を大きくするのは難しい」と。たしかにたくさん仕事を同時にこなしていくのが難しいので生産性が高いとはいえませんが、でも、お客様の心にパズルのようにしっかりとまり込み、不採用率が低いため、効率でいえば意外といいのかもしれませんが、少なくとも弊社は幸運にもそれができる小さな規模の会社なのです。

これから先、創立10周年を迎え、さらに発展していくには上述のような課題に悩むときがくるのかもしれませんが、でもそれはそのとき…と割り切り、しばらくは今あるお客様との絆を大切に、鈍行列車からの景色を楽しみたいと思います。

今回はトップツアーの山科ほとりさんにバトンタッチです。

年のJWTCはイベントの具体的な計画が盛りだくさんです。いずれも内容が充実していて、お得で、楽しいものばかり。新米部長が頑張りますので、どうぞ皆様、積極的にご参加ください。

〈活動計画〉

- 親睦会 日帰り旅行（6月15日実施予定）
- 勉強会①ホテル見学会「東京ステーションホテル」（5月15日実施予定）
- 勉強会②東北応援勉強会 青森の食文化～高城順子先生によるお料理教室～（8月3日実施予定）
- 勉強会③「メコン川流域の観光と経済」（9月または11月実施予定）
- 勉強会④「イスラム文化について」（9月または11月実施予定）
- 新入会員オリエンテーション（1回）

【名古屋支部】 三宅博子支部長

入会以来、メンバーとして活動させていただいておりましたが、この度順番ではありますが、支部長を拝命しました。諸先輩方が運営してきてくださった貴重な会の運営を引き続き頑張ります。また折角の機会ですので、皆様が骨を折り設定していただいているセミナー・勉強会へも積極的に参加させていただきたいと思っております。名古屋支部は10名と少人数ではありますがさらに親睦を深め、楽しく、また刺激もある有意義な会へのお手伝いできれば幸いです。どうぞご支援のほどお願いいたします。

〈活動計画〉

- ディスティネーションセミナー「バルシャ」（5月18日実施予定）
- 勉強会①「旅と健康」中高年のハイキングセミナー（夏実施予定）
- 勉強会②「名古屋城本丸御殿 見学会」～名古屋再発見PART II～（秋実施予定）



ジャール平原に石壺遺跡を訪ねて

◆第4回勉強会◆

京都 紅葉と
六波羅蜜寺を訪ねて

日時 2012年12月1日(土)

2012年度NHK大河ドラマ「平清盛」ゆかりの地京都へ向き、【国宝十一面観音像の御開帳】がされている六波羅蜜寺を訪れました。醍醐天皇の皇子で若くして出家した空也上人によって951年に建てられた由緒あるお寺です。

12年に1度、辰年33日間だけの限定で開帳される【国宝十一面観音立像】は本堂に奥深くに安置されていました。内陣に入って焼香。十一面観音さまを拝顔。一人一人観音さまと結ばれた五鈴を手にし、ご縁を結ばせていただくことができ、1年の締めくりに心を新たにすることができました。

本堂の裏手には宝物館があり、口から6

体の阿弥陀如来を吹き出している【空也上人立像】、そして【平清盛坐像】。歴史の教科書で見たことのあるこの2体の像を生で観られて感激です。六波羅蜜寺の境内には平安時代のものでされる平清盛の供養塔や金運にご利益のある弁天様もいらっしゃいます。

残念なことに「六波羅蜜寺の辰年御開帳」の辰年にしか発行されない「淵籠」と書かれたお札があることを帰ってから知りました。家運の隆盛のご利益が強いとの評判。家の玄関の内側の高いところに貼ると、そのご利益が頂戴できるそうです。

昼食は創業350年の京料理【はり清】で懐石料理を楽しみました。その後、清水寺や高台寺にも足を延ばしましたが、紅葉の時期も重なるこの時期の京都は、修学旅行や遠足の学生や外国の観光客も多く、どこも人・人・人…。かなり散策した後は祇園の和菓子屋【鍵善良房】で、やはりちょっと寒かった京都で冷えた体を温めました。



盛りだくさんの1日でした。

新年を迎え、名古屋支部では準会員を含め、総勢10名での活動ですが、常に元気に明るくをモットーにし、多くの方と交流を深め、これからの旅行業界のために貢献できればと思っています。よろしく願いいたします。

草次昌子 (株)リッチトラベル

☆勉強会のご案内☆

「東京ステーションホテル見学&お食事会」



総会で予告しました通り、勉強会として「東京ステーションホテルの見学&お食事会」を5月15日(水)に開催いたします。

昨年の東京駅復元工事は大変な話題となりましたが、ホテルの内部は業界人といえどもなかなか見学させてもらえません。“国の重要文化財である駅舎の格調と重厚感、その積み重ねてきたおよそ100年の歴史、そして現代のホテルに求められる機能性を備えた唯一無二のホテル”を、ぜひこの機会にご覧ください。

今回の見学会は全員お食事付で、なんと特別に、通常は宿泊者限定のラウンジである「アトリウム」にて、コース料理をいただきます。ビジターも大歓迎いたします。どうぞお問い合わせの上、お申し込みください。

イベント企画部 山科ひとり

日時：2013年5月15日(水)

見学会 18:30～約1時間

お食事会 19:30～コース料理 ワンドリンク付

※全員お食事付。見学のみのお申し込みはできません

集合場所：東京駅 丸の内南口改札前 18:20

会費：会員 9,500円

ビジター 10,500円 ※いずれも当日現金にて

申込方法：メールでイベント企画部 山科宛に。FAXでも受付可

Mail：hotori_yamashina@toptour.co.jp

FAX：03-3221-4689 (株)ウエنز

申込期日：平成25年4月25日(木)

※5月13、14日の取り消しは50%、15日当日は100%頂戴します

これからの行事のお知らせ

★6月15日(土)

JWTC日帰り親睦旅行

新緑の那須「二期倶楽部」での昼食と見学会ほか

★7月3日(水)

JATA×JWTC 第1回特別勉強会

講師：日本旅行業協会 菊間潤吾会長
18:30～JATA会議室(東京・霞が関)

★8月3日(土)

東北復興応援企画

「青森の食を知る料理教室」

講師：料理研究家 高城順子先生

今年度より、観光業に従事する女性の意識向上と啓蒙を目的に、JATA(日本旅行業協会)共催の勉強会をシリーズ開催の予定です。ふるってご参加ください。



株高、円安、賃上げなどアベノミクス効果か、デフレ解消ともいえる「明るい話題」でスタートした今年。ツーリズム産業もこの波に乗り、観光が日本の成長戦略を担い名実ともに早期に「観光立国」が実現することを業界のすべての人々が願っています。天災、人災、そしてその風評被害等により旅行離れ現象が続くこともあり、右肩上がりの成長はもはや現実的ではなくなっていますが、消費行動の多様化、震災後の新たな価値観による市場機会(家族の絆、未来重視)など機会も未曾有にあります。キーワードは「変化」「変革」。自ら変化することにより新たな需要創出がもたらされます。

JWTCも発足30年以上となり、今後も継続して活動を続けていくためには、会の活動そのものを見つめ直し、変化の時期を迎えています。今回の4部体制から3部体制への移行、メンバー再編はそうした目的があります。女性の会ならではの凛とした美しさを維持しつつ、新たな融合で業界への価値提供、会員相互の親睦という会そのものの目的をみんなで達成していきましょう。(Y.S)

◆運営委員会だより◆

2012年12月～2013年3月

総務部

- 2012年度決算進捗状況報告
- 2013年度予算案について
- 総会についての確認

会員部

- 会員の異動

広報部

- ニュースレター発行

名古屋支部

- 勉強会・京都の報告

その他

- 特別勉強会
 - ・佐賀ファミツアーの報告
- 新組織について
- 規約改正委員会